

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 千葉県)(地区名: 吉田)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 千葉県)(地区名: 吉田)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	—	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮	—	○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,576	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	71.8	A
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	2,827 6	B
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	234.5	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	363.6	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	85.8	A
			担い手への面的集積率	%	100.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	104.8 4.8	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,242	B
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話し合い	—	○ ○	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	—	B
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組 生態系・景観への配慮	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A
			①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮	—	a	A
②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組			—	a		
③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a				

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	○	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	○ ○	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	84.2	A

吉田地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	2,776,409
当該事業による費用	②	2,069,046
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	707,363
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,461,602
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.24

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	-	2,069,046	-	432,892	148,966	2,352,972
	計	-	2,069,046	-	432,892	148,966	2,352,972
そ の 他	水門・堰	9,455	-	15,985	10,054	1,344	34,150
	揚水機場	6,002	-	184	77,682	9,365	74,503
	用水路	49,423	-	-	167,347	28,335	188,435
	揚水機	0	-	-	144,419	18,070	126,349
	計	64,880	-	16,169	399,502	57,114	423,437
合 計		64,880	2,069,046	16,169	832,394	206,080	2,776,409

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		54,727	農業用排水施設整備、区画整理、暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		136,455	農業用排水施設整備、区画整理及び暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 3,885	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農村の振興に関する効果			
地籍確定効果		873	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が節減する効果
多面的機能の発揮に関する効果			
景観・環境保全効果		283	農業用排水施設整備にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		7,847	農業用排水施設整備及び区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		196,300	

(4) 総便益額算出表－1

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	47,229	7,498	0.0	0	47,229	45,413	
2	R9	1.0816	2	47,229	7,498	0.0	0	47,229	43,666	
3	R10	1.1249	3	47,229	7,498	0.0	0	47,229	41,985	
4	R11	1.1699	4	47,229	7,498	0.0	0	47,229	40,370	
5	R12	1.2167	5	47,229	7,498	47.0	3,524	50,753	41,714	
6	R13	1.2653	6	47,229	7,498	68.4	5,129	52,358	41,380	
7	R14	1.3159	7	47,229	7,498	81.3	6,096	53,325	40,524	
8	R15	1.3686	8	47,229	7,498	93.4	7,003	54,232	39,626	
9	R16	1.4233	9	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	38,451	
10	R17	1.4802	10	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	36,973	
11	R18	1.5395	11	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	35,549	
12	R19	1.6010	12	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	34,183	
13	R20	1.6651	13	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	32,867	
14	R21	1.7317	14	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	31,603	
15	R22	1.8009	15	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	30,389	
16	R23	1.8730	16	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	29,219	
17	R24	1.9479	17	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	28,095	
18	R25	2.0258	18	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	27,015	
19	R26	2.1068	19	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	25,976	
20	R27	2.1911	20	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	24,977	
21	R28	2.2788	21	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	24,016	
22	R29	2.3699	22	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	23,093	
23	R30	2.4647	23	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	22,204	
24	R31	2.5633	24	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	21,350	
25	R32	2.6658	25	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	20,529	
26	R33	2.7725	26	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	19,739	
27	R34	2.8834	27	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	18,980	
28	R35	2.9987	28	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	18,250	
29	R36	3.1187	29	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	17,548	
30	R37	3.2434	30	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	16,873	
31	R38	3.3731	31	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	16,225	
32	R39	3.5081	32	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	15,600	
33	R40	3.6484	33	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	15,000	
34	R41	3.7943	34	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	14,423	
35	R42	3.9461	35	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	13,869	
36	R43	4.1039	36	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	13,335	
37	R44	4.2681	37	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	12,822	
38	R45	4.4388	38	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	12,329	
39	R46	4.6164	39	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	11,855	
40	R47	4.8010	40	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	11,399	
41	R48	4.9931	41	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	10,961	
42	R49	5.1928	42	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	10,539	
43	R50	5.4005	43	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	10,134	
44	R51	5.6165	44	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	9,744	
45	R52	5.8412	45	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	9,369	
46	R53	6.0748	46	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	9,009	
47	R54	6.3178	47	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	8,662	
48	R55	6.5705	48	47,229	7,498	100.0	7,498	54,727	8,329	
合計（総便益額）									1,126,161	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 13,346	149,801	0.0	0	△ 13,346	△ 12,833	
2	R9	1.0816	2	△ 13,346	149,801	0.0	0	△ 13,346	△ 12,339	
3	R10	1.1249	3	△ 13,346	149,801	0.0	0	△ 13,346	△ 11,864	
4	R11	1.1699	4	△ 13,346	149,801	0.0	0	△ 13,346	△ 11,408	
5	R12	1.2167	5	△ 13,346	149,801	47.0	70,406	57,060	46,897	
6	R13	1.2653	6	△ 13,346	149,801	68.4	102,464	89,118	70,432	
7	R14	1.3159	7	△ 13,346	149,801	81.3	121,788	108,442	82,409	
8	R15	1.3686	8	△ 13,346	149,801	93.4	139,914	126,568	92,480	
9	R16	1.4233	9	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	95,872	
10	R17	1.4802	10	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	92,187	
11	R18	1.5395	11	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	88,636	
12	R19	1.6010	12	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	85,231	
13	R20	1.6651	13	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	81,950	
14	R21	1.7317	14	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	78,798	
15	R22	1.8009	15	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	75,770	
16	R23	1.8730	16	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	72,854	
17	R24	1.9479	17	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	70,052	
18	R25	2.0258	18	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	67,359	
19	R26	2.1068	19	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	64,769	
20	R27	2.1911	20	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	62,277	
21	R28	2.2788	21	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	59,880	
22	R29	2.3699	22	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	57,578	
23	R30	2.4647	23	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	55,364	
24	R31	2.5633	24	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	53,234	
25	R32	2.6658	25	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	51,187	
26	R33	2.7725	26	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	49,217	
27	R34	2.8834	27	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	47,324	
28	R35	2.9987	28	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	45,505	
29	R36	3.1187	29	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	43,754	
30	R37	3.2434	30	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	42,072	
31	R38	3.3731	31	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	40,454	
32	R39	3.5081	32	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	38,897	
33	R40	3.6484	33	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	37,401	
34	R41	3.7943	34	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	35,963	
35	R42	3.9461	35	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	34,580	
36	R43	4.1039	36	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	33,250	
37	R44	4.2681	37	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	31,971	
38	R45	4.4388	38	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	30,741	
39	R46	4.6164	39	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	29,559	
40	R47	4.8010	40	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	28,422	
41	R48	4.9931	41	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	27,329	
42	R49	5.1928	42	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	26,278	
43	R50	5.4005	43	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	25,267	
44	R51	5.6165	44	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	24,295	
45	R52	5.8412	45	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	23,361	
46	R53	6.0748	46	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	22,462	
47	R54	6.3178	47	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	21,598	
48	R55	6.5705	48	△ 13,346	149,801	100.0	149,801	136,455	20,768	
合計 (総便益額)									2,217,240	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 2,021	△ 1,864	0.0	0	△ 2,021	△ 1,943	
2	R9	1.0816	2	△ 2,021	△ 1,864	0.0	0	△ 2,021	△ 1,869	
3	R10	1.1249	3	△ 2,021	△ 1,864	0.0	0	△ 2,021	△ 1,797	
4	R11	1.1699	4	△ 2,021	△ 1,864	0.0	0	△ 2,021	△ 1,727	
5	R12	1.2167	5	△ 2,021	△ 1,864	47.0	△ 876	△ 2,897	△ 2,381	
6	R13	1.2653	6	△ 2,021	△ 1,864	68.4	△ 1,275	△ 3,296	△ 2,605	
7	R14	1.3159	7	△ 2,021	△ 1,864	81.3	△ 1,515	△ 3,536	△ 2,687	
8	R15	1.3686	8	△ 2,021	△ 1,864	93.4	△ 1,741	△ 3,762	△ 2,749	
9	R16	1.4233	9	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 2,730	
10	R17	1.4802	10	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 2,625	
11	R18	1.5395	11	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 2,524	
12	R19	1.6010	12	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 2,427	
13	R20	1.6651	13	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 2,333	
14	R21	1.7317	14	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 2,243	
15	R22	1.8009	15	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 2,157	
16	R23	1.8730	16	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 2,074	
17	R24	1.9479	17	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,994	
18	R25	2.0258	18	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,918	
19	R26	2.1068	19	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,844	
20	R27	2.1911	20	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,773	
21	R28	2.2788	21	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,705	
22	R29	2.3699	22	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,639	
23	R30	2.4647	23	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,576	
24	R31	2.5633	24	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,516	
25	R32	2.6658	25	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,457	
26	R33	2.7725	26	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,401	
27	R34	2.8834	27	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,347	
28	R35	2.9987	28	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,296	
29	R36	3.1187	29	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,246	
30	R37	3.2434	30	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,198	
31	R38	3.3731	31	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,152	
32	R39	3.5081	32	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,107	
33	R40	3.6484	33	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,065	
34	R41	3.7943	34	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 1,024	
35	R42	3.9461	35	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 985	
36	R43	4.1039	36	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 947	
37	R44	4.2681	37	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 910	
38	R45	4.4388	38	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 875	
39	R46	4.6164	39	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 842	
40	R47	4.8010	40	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 809	
41	R48	4.9931	41	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 778	
42	R49	5.1928	42	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 748	
43	R50	5.4005	43	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 719	
44	R51	5.6165	44	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 692	
45	R52	5.8412	45	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 665	
46	R53	6.0748	46	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 640	
47	R54	6.3178	47	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 615	
48	R55	6.5705	48	△ 2,021	△ 1,864	100.0	△ 1,864	△ 3,885	△ 591	
合計 (総便益額)									△ 73,945	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－4

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	地籍確定効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	873	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	873	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	873	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	873	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	873	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	873	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	873	0.0	0	0	0	
8	R15	1.3686	8	-	873	0.0	0	0	0	
9	R16	1.4233	9	-	873	100.0	873	873	613	
10	R17	1.4802	10	-	873	100.0	873	873	590	
11	R18	1.5395	11	-	873	100.0	873	873	567	
12	R19	1.6010	12	-	873	100.0	873	873	545	
13	R20	1.6651	13	-	873	100.0	873	873	524	
14	R21	1.7317	14	-	873	100.0	873	873	504	
15	R22	1.8009	15	-	873	100.0	873	873	485	
16	R23	1.8730	16	-	873	100.0	873	873	466	
17	R24	1.9479	17	-	873	100.0	873	873	448	
18	R25	2.0258	18	-	873	100.0	873	873	431	
19	R26	2.1068	19	-	873	100.0	873	873	414	
20	R27	2.1911	20	-	873	100.0	873	873	398	
21	R28	2.2788	21	-	873	100.0	873	873	383	
22	R29	2.3699	22	-	873	100.0	873	873	368	
23	R30	2.4647	23	-	873	100.0	873	873	354	
24	R31	2.5633	24	-	873	100.0	873	873	341	
25	R32	2.6658	25	-	873	100.0	873	873	327	
26	R33	2.7725	26	-	873	100.0	873	873	315	
27	R34	2.8834	27	-	873	100.0	873	873	303	
28	R35	2.9987	28	-	873	100.0	873	873	291	
29	R36	3.1187	29	-	873	100.0	873	873	280	
30	R37	3.2434	30	-	873	100.0	873	873	269	
31	R38	3.3731	31	-	873	100.0	873	873	259	
32	R39	3.5081	32	-	873	100.0	873	873	249	
33	R40	3.6484	33	-	873	100.0	873	873	239	
34	R41	3.7943	34	-	873	100.0	873	873	230	
35	R42	3.9461	35	-	873	100.0	873	873	221	
36	R43	4.1039	36	-	873	100.0	873	873	213	
37	R44	4.2681	37	-	873	100.0	873	873	205	
38	R45	4.4388	38	-	873	100.0	873	873	197	
39	R46	4.6164	39	-	873	100.0	873	873	189	
40	R47	4.8010	40	-	873	100.0	873	873	182	
41	R48	4.9931	41	-	873	100.0	873	873	175	
42	R49	5.1928	42	-	873	100.0	873	873	168	
43	R50	5.4005	43	-	873	100.0	873	873	162	
44	R51	5.6165	44	-	873	100.0	873	873	155	
45	R52	5.8412	45	-	873	100.0	873	873	149	
46	R53	6.0748	46	-	873	100.0	873	873	144	
47	R54	6.3178	47	-	873	100.0	873	873	138	
48	R55	6.5705	48	-	873	100.0	873	873	133	
合計 (総便益額)									12,624	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	景観・環境保全効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	283	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	283	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	283	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	283	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	283	47.0	133	133	109	
6	R13	1.2653	6	-	283	68.4	194	194	153	
7	R14	1.3159	7	-	283	81.3	230	230	175	
8	R15	1.3686	8	-	283	93.4	264	264	193	
9	R16	1.4233	9	-	283	100.0	283	283	199	
10	R17	1.4802	10	-	283	100.0	283	283	191	
11	R18	1.5395	11	-	283	100.0	283	283	184	
12	R19	1.6010	12	-	283	100.0	283	283	177	
13	R20	1.6651	13	-	283	100.0	283	283	170	
14	R21	1.7317	14	-	283	100.0	283	283	163	
15	R22	1.8009	15	-	283	100.0	283	283	157	
16	R23	1.8730	16	-	283	100.0	283	283	151	
17	R24	1.9479	17	-	283	100.0	283	283	145	
18	R25	2.0258	18	-	283	100.0	283	283	140	
19	R26	2.1068	19	-	283	100.0	283	283	134	
20	R27	2.1911	20	-	283	100.0	283	283	129	
21	R28	2.2788	21	-	283	100.0	283	283	124	
22	R29	2.3699	22	-	283	100.0	283	283	119	
23	R30	2.4647	23	-	283	100.0	283	283	115	
24	R31	2.5633	24	-	283	100.0	283	283	110	
25	R32	2.6658	25	-	283	100.0	283	283	106	
26	R33	2.7725	26	-	283	100.0	283	283	102	
27	R34	2.8834	27	-	283	100.0	283	283	98	
28	R35	2.9987	28	-	283	100.0	283	283	94	
29	R36	3.1187	29	-	283	100.0	283	283	91	
30	R37	3.2434	30	-	283	100.0	283	283	87	
31	R38	3.3731	31	-	283	100.0	283	283	84	
32	R39	3.5081	32	-	283	100.0	283	283	81	
33	R40	3.6484	33	-	283	100.0	283	283	78	
34	R41	3.7943	34	-	283	100.0	283	283	75	
35	R42	3.9461	35	-	283	100.0	283	283	72	
36	R43	4.1039	36	-	283	100.0	283	283	69	
37	R44	4.2681	37	-	283	100.0	283	283	66	
38	R45	4.4388	38	-	283	100.0	283	283	64	
39	R46	4.6164	39	-	283	100.0	283	283	61	
40	R47	4.8010	40	-	283	100.0	283	283	59	
41	R48	4.9931	41	-	283	100.0	283	283	57	
42	R49	5.1928	42	-	283	100.0	283	283	54	
43	R50	5.4005	43	-	283	100.0	283	283	52	
44	R51	5.6165	44	-	283	100.0	283	283	50	
45	R52	5.8412	45	-	283	100.0	283	283	48	
46	R53	6.0748	46	-	283	100.0	283	283	47	
47	R54	6.3178	47	-	283	100.0	283	283	45	
48	R55	6.5705	48	-	283	100.0	283	283	43	
合計（総便益額）									4,721	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－6

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	9,730	△ 1,883	0.0	0	9,730	9,356	
2	R9	1.0816	2	9,730	△ 1,883	0.0	0	9,730	8,996	
3	R10	1.1249	3	9,730	△ 1,883	0.0	0	9,730	8,650	
4	R11	1.1699	4	9,730	△ 1,883	0.0	0	9,730	8,317	
5	R12	1.2167	5	9,730	△ 1,883	47.0	△ 885	8,845	7,270	
6	R13	1.2653	6	9,730	△ 1,883	68.4	△ 1,288	8,442	6,672	
7	R14	1.3159	7	9,730	△ 1,883	81.3	△ 1,531	8,199	6,231	
8	R15	1.3686	8	9,730	△ 1,883	93.4	△ 1,759	7,971	5,824	
9	R16	1.4233	9	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	5,513	
10	R17	1.4802	10	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	5,301	
11	R18	1.5395	11	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	5,097	
12	R19	1.6010	12	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	4,901	
13	R20	1.6651	13	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	4,713	
14	R21	1.7317	14	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	4,531	
15	R22	1.8009	15	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	4,357	
16	R23	1.8730	16	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	4,190	
17	R24	1.9479	17	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	4,028	
18	R25	2.0258	18	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	3,874	
19	R26	2.1068	19	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	3,725	
20	R27	2.1911	20	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	3,581	
21	R28	2.2788	21	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	3,443	
22	R29	2.3699	22	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	3,311	
23	R30	2.4647	23	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	3,184	
24	R31	2.5633	24	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	3,061	
25	R32	2.6658	25	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,944	
26	R33	2.7725	26	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,830	
27	R34	2.8834	27	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,721	
28	R35	2.9987	28	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,617	
29	R36	3.1187	29	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,516	
30	R37	3.2434	30	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,419	
31	R38	3.3731	31	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,326	
32	R39	3.5081	32	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,237	
33	R40	3.6484	33	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,151	
34	R41	3.7943	34	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	2,068	
35	R42	3.9461	35	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,989	
36	R43	4.1039	36	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,912	
37	R44	4.2681	37	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,839	
38	R45	4.4388	38	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,768	
39	R46	4.6164	39	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,700	
40	R47	4.8010	40	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,634	
41	R48	4.9931	41	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,572	
42	R49	5.1928	42	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,511	
43	R50	5.4005	43	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,453	
44	R51	5.6165	44	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,397	
45	R52	5.8412	45	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,343	
46	R53	6.0748	46	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,292	
47	R54	6.3178	47	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,242	
48	R55	6.5705	48	9,730	△ 1,883	100.0	△ 1,883	7,847	1,194	
合計 (総便益額)									174,801	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、WCS用稲、加工用米、ブロッコリー、ねぎ、えだまめ、さといも、ほうれんそう

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額^{※1} + 作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増 加 粗 収 益 額 ⑤ = ③×④	純 益 率 ⑥	年 効 果 額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稻	新設	72.0	43.0	39.1	単収増 (乾田化Ⅰ)	568	602	34	13.3	-	-	-	-
				3.9	単収増 (乾田化Ⅱ)	568	585	17	0.7	-	-	-	-
				43.0	単収増 (水管理改良)	568	579	11	4.9	-	-	-	-
					小計	-	-	-	18.90	224	4,234	89	3,768
				△ 29.0	作付減	-	-	568	△ 164.7	-	-	-	-
		小計	-	-	-	△ 164.7	224	△ 36,893	-	-			
		更新	72.0	72.0	72.0	水管理改良	239	568	329	236.9	-	-	-
					小計	-	-	-	236.9	224	53,066	89	47,229
					水稻計	-	-	-	91.1	-	20,407	-	50,997
WCS用稲	新設	-	19.6	19.6	作付増	-	-	2,500	490.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	490.0	12	5,880	10	588
					WCS用稲計	-	-	-	490.0	-	5,880	-	588
加工用米	新設	-	7.0	7.0	作付増	-	-	510	35.7	-	-	-	-
					小計	-	-	-	35.7	123	4,391	-	-
					加工用米計	-	-	-	35.7	-	4,391	-	-
ブロッコリー	新設	-	1.7	1.7	作付増	-	-	844	14.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	14.3	259	3,704	16	593
					ブロッコリー計	-	-	-	14.3	-	3,704	-	593
水田計	新設	72.0	71.3								△ 18,684		4,949
	更新	72.0	72.0								53,066		47,229
ねぎ	新設	0.4	1.7	1.3	作付増	-	-	2508	32.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	32.6	212	6,911	16	1,106
					ねぎ計	-	-	-	32.6	-	6,911	-	1,106
えだまめ	新設	0.4	1.7	1.3	作付増	-	-	771	10.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	10.0	928	9,280	17	1,578
					えだまめ計	-	-	-	10.0	-	9,280	-	1,578
さといも	新設	0.2	-	△ 0.2	作付減	-	-	1,384	△ 2.8	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△ 2.8	258	△ 722	12	△ 87
					さといも計	-	-	-	△ 2.8	-	△ 722	-	△ 87
ほうれんそう	新設	0.1	-	△ 0.1	作付減	-	-	1,114	△ 1.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△ 1.1	270	△ 297	16	△ 48
					ほうれんそう計	-	-	-	△ 1.1	-	△ 297	-	△ 48
普通畑計	新設	1.1	3.4								15,172		2,549
	更新	-	-								-		-
	新設										△ 3,512		7,498
	更新										53,066		47,229
	合計										49,554		54,727

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、WCS用稲、加工用米、えだまめ、ねぎ、ブロッコリー

○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当たり営農経費－事業ありせば単位面積当たり営農経費）
×効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻-営農組織- (区画整理)	3,688,781	1,325,632	-	-	2,363,149	22.9	54,116
水稻-担い手- (区画整理)	3,688,781	1,867,938	-	-	1,820,843	10.1	18,391
水稻-小規模- (区画整理)	3,688,781	2,073,078	-	-	1,615,703	10.0	16,157
WCS用稲-営農組織- (区画整理)	3,688,781	1,325,632	-	-	2,363,149	13.6	32,139
WCS用稲-担い手- (区画整理)	3,688,781	1,867,938	-	-	1,820,843	6.0	10,925
加工用米-営農組織- (区画整理)	3,688,781	1,325,632	-	-	2,363,149	7.0	16,542
えだまめ (区画整理)	5,028,849	4,415,946	-	-	612,903	1.7	1,042
ねぎ (区画整理)	8,071,279	7,790,309	-	-	280,970	1.7	478
ブロッコリー (区画整理)	1,587,749	1,581,507	-	-	6,242	1.7	11
水稻 (用水改良)	-	-	3,503,421	3,688,781	△185,360	72.0	△13,346
新 設							149,801
更 新							△13,346
合 計							136,455

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、千葉県農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、千葉県農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

用水路、排水路、揚水機場、水門

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		2,245	4,109	△ 1,864
更新整備		224	2,245	△ 2,021
合計				△ 3,885

- ・事業なかりせば維持管理費 : 現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費 : 現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費 : 現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) 地籍確定効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、土地を国土調査する場合に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

○対象

区画整理実施地区のうち国土調査未実施地域

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば国土調査経費 - 事業ありせば国土調査経費) × 還元率

○年効果額の算定

区分	事業なかりせば 国土調査費 ①	事業ありせば 国土調査費 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (① - ②) × ③
	千円	千円		千円
新設整備	21,652	266	0.0408	873

- ・事業なかりせば国土調査経費 : 現況国土調査費（近傍地区における国土調査費）
- ・事業ありせば国土調査経費 : 計画国土調査費（国土調査法第19条第5項の申請に要する費用相当額）
- ・還元率 : 施設等有している総効果額を耐用年数期間（基本的に100年とする）に換算するための係数

(5) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象施設

環境保全施設

○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額[※] × 受益範囲世帯数 × { C1 / (C1 + C2) }
ただし、

C1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

※過去の国営地区における算定結果を基にした計算式によりWTPを推計

○年効果額の算定

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ② = ③ + ④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他の事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤ = ① × (③ / ②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	排水路	283	556	556	-	283

(6) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、WCS用稲、加工用米、ブロッコリー、ねぎ、えだまめ、さといも、ほうれんそう

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額 (原単位)
+ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額 (原単位)

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産額 当たり効果額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	△ 3,512	△ 172,860	49	9.9	△ 1,883
更新整備	53,066	720,176	49	9.9	9,730
合計	49,554	547,316			7,847

- ・ 増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・ 単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、千葉県耕地課調べ

【便益】

- ・ 農林水産省大臣官房統計部「作物統計（令和2年～令和6年）」
- ・ 農林水産省大臣官房統計部「作況調査（令和元年～令和5年）」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、千葉県耕地課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 静岡県)(地区名: 朝比奈)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名：静岡県)(地区名：朝比奈)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	-	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮		○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,418	A
			スマート農業技術等の導入	-	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	61.7	B
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	2,775 9	B
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	220.0	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	2,117.8	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	85.8	A
			担い手への面的集積率	%	82.5	B
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	138.5 44.9	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	3,991	A
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	-	○ ○	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	-	○	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	-	○	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮	-	a	A
②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組			-	a		
		③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	-	-		

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	○	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)の状況 ②その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画(GFPグローバル産地計画)の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	77.8	B

朝比奈地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	2,140,803
当該事業による費用	②	1,710,178
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	430,625
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	50年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	2,853,065
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.33

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業に よる費用	関連事業 による費 用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
当 該 事 業	農業用排水施設整備	42,292	997,951	-	247,133	115,319	1,172,057
	区画整理	-	332,663	-	-	-	332,663
	農道	-	205,208	-	104,958	31,159	279,007
	暗渠排水	-	174,356	-	57,691	7,726	224,321
	計	42,292	1,710,178	-	409,782	154,204	2,008,048
そ の 他	用水路	1,477	-	-	13,579	1,441	13,615
	頭首工	69,345	-	-	55,330	5,535	119,140
	計	70,822	-	-	68,909	6,976	132,755
合 計		113,114	1,710,178	-	478,691	161,180	2,140,803

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		52,529	農業用排水施設整備及び暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		77,636	農業用排水施設整備、区画整理、農道及び暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 2,000	農業用排水施設整備、区画整理、農道及び暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
その他の効果			
水田貯留機能向上効果		22,375	水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での当該地域や下流域の洪水被害が防止又は軽減される効果
国産農産物安定供給効果		12,924	農業用排水施設整備及び暗渠排水の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		163,464	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	29,882	22,647	0.0	0	29,882	28,733	
2	R9	1.0816	2	29,882	22,647	0.0	0	29,882	27,628	
3	R10	1.1249	3	29,882	22,647	9.0	2,038	31,920	28,376	
4	R11	1.1699	4	29,882	22,647	18.0	4,076	33,958	29,026	
5	R12	1.2167	5	29,882	22,647	27.0	6,115	35,997	29,586	
6	R13	1.2653	6	29,882	22,647	38.0	8,606	38,488	30,418	
7	R14	1.3159	7	29,882	22,647	52.0	11,776	41,658	31,657	
8	R15	1.3686	8	29,882	22,647	65.0	14,721	44,603	32,590	
9	R16	1.4233	9	29,882	22,647	78.0	17,665	47,547	33,406	
10	R17	1.4802	10	29,882	22,647	91.0	20,609	50,491	34,111	
11	R18	1.5395	11	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	34,121	
12	R19	1.6010	12	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	32,810	
13	R20	1.6651	13	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	31,547	
14	R21	1.7317	14	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	30,334	
15	R22	1.8009	15	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	29,168	
16	R23	1.8730	16	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	28,045	
17	R24	1.9479	17	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	26,967	
18	R25	2.0258	18	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	25,930	
19	R26	2.1068	19	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	24,933	
20	R27	2.1911	20	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	23,974	
21	R28	2.2788	21	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	23,051	
22	R29	2.3699	22	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	22,165	
23	R30	2.4647	23	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	21,313	
24	R31	2.5633	24	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	20,493	
25	R32	2.6658	25	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	19,705	
26	R33	2.7725	26	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	18,946	
27	R34	2.8834	27	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	18,218	
28	R35	2.9987	28	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	17,517	
29	R36	3.1187	29	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	16,843	
30	R37	3.2434	30	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	16,196	
31	R38	3.3731	31	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	15,573	
32	R39	3.5081	32	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	14,974	
33	R40	3.6484	33	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	14,398	
34	R41	3.7943	34	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	13,844	
35	R42	3.9461	35	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	13,312	
36	R43	4.1039	36	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	12,800	
37	R44	4.2681	37	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	12,307	
38	R45	4.4388	38	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	11,834	
39	R46	4.6164	39	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	11,379	
40	R47	4.8010	40	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	10,941	
41	R48	4.9931	41	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	10,520	
42	R49	5.1928	42	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	10,116	
43	R50	5.4005	43	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	9,727	
44	R51	5.6165	44	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	9,353	
45	R52	5.8412	45	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	8,993	
46	R53	6.0748	46	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	8,647	
47	R54	6.3178	47	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	8,314	
48	R55	6.5705	48	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	7,995	
49	R56	6.8333	49	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	7,687	
50	R57	7.1067	50	29,882	22,647	100.0	22,647	52,529	7,391	
合計(総便益額)									1,007,912	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	5,215	72,421	0.0	0	5,215	5,014	
2	R9	1.0816	2	5,215	72,421	0.0	0	5,215	4,822	
3	R10	1.1249	3	5,215	72,421	9.0	6,518	11,733	10,430	
4	R11	1.1699	4	5,215	72,421	18.0	13,036	18,251	15,600	
5	R12	1.2167	5	5,215	72,421	27.0	19,554	24,769	20,358	
6	R13	1.2653	6	5,215	72,421	38.0	27,520	32,735	25,871	
7	R14	1.3159	7	5,215	72,421	52.0	37,659	42,874	32,582	
8	R15	1.3686	8	5,215	72,421	65.0	47,074	52,289	38,206	
9	R16	1.4233	9	5,215	72,421	78.0	56,488	61,703	43,352	
10	R17	1.4802	10	5,215	72,421	91.0	65,903	71,118	48,046	
11	R18	1.5395	11	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	50,429	
12	R19	1.6010	12	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	48,492	
13	R20	1.6651	13	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	46,625	
14	R21	1.7317	14	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	44,832	
15	R22	1.8009	15	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	43,110	
16	R23	1.8730	16	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	41,450	
17	R24	1.9479	17	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	39,856	
18	R25	2.0258	18	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	38,324	
19	R26	2.1068	19	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	36,850	
20	R27	2.1911	20	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	35,432	
21	R28	2.2788	21	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	34,069	
22	R29	2.3699	22	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	32,759	
23	R30	2.4647	23	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	31,499	
24	R31	2.5633	24	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	30,288	
25	R32	2.6658	25	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	29,123	
26	R33	2.7725	26	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	28,002	
27	R34	2.8834	27	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	26,925	
28	R35	2.9987	28	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	25,890	
29	R36	3.1187	29	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	24,894	
30	R37	3.2434	30	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	23,937	
31	R38	3.3731	31	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	23,016	
32	R39	3.5081	32	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	22,130	
33	R40	3.6484	33	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	21,279	
34	R41	3.7943	34	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	20,461	
35	R42	3.9461	35	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	19,674	
36	R43	4.1039	36	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	18,918	
37	R44	4.2681	37	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	18,190	
38	R45	4.4388	38	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	17,490	
39	R46	4.6164	39	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	16,817	
40	R47	4.8010	40	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	16,171	
41	R48	4.9931	41	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	15,549	
42	R49	5.1928	42	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	14,951	
43	R50	5.4005	43	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	14,376	
44	R51	5.6165	44	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	13,823	
45	R52	5.8412	45	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	13,291	
46	R53	6.0748	46	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	12,780	
47	R54	6.3178	47	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	12,288	
48	R55	6.5705	48	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	11,816	
49	R56	6.8333	49	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	11,361	
50	R57	7.1067	50	5,215	72,421	100.0	72,421	77,636	10,924	
合計(総便益額)									1,282,372	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 234	△ 1,766	0.0	0	△ 234	△ 225	
2	R9	1.0816	2	△ 234	△ 1,766	0.0	0	△ 234	△ 216	
3	R10	1.1249	3	△ 234	△ 1,766	9.0	△ 159	△ 393	△ 349	
4	R11	1.1699	4	△ 234	△ 1,766	18.0	△ 318	△ 552	△ 472	
5	R12	1.2167	5	△ 234	△ 1,766	27.0	△ 477	△ 711	△ 584	
6	R13	1.2653	6	△ 234	△ 1,766	38.0	△ 671	△ 905	△ 715	
7	R14	1.3159	7	△ 234	△ 1,766	52.0	△ 918	△ 1,152	△ 875	
8	R15	1.3686	8	△ 234	△ 1,766	65.0	△ 1,148	△ 1,382	△ 1,010	
9	R16	1.4233	9	△ 234	△ 1,766	78.0	△ 1,377	△ 1,611	△ 1,132	
10	R17	1.4802	10	△ 234	△ 1,766	91.0	△ 1,607	△ 1,841	△ 1,244	
11	R18	1.5395	11	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 1,299	
12	R19	1.6010	12	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 1,249	
13	R20	1.6651	13	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 1,201	
14	R21	1.7317	14	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 1,155	
15	R22	1.8009	15	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 1,111	
16	R23	1.8730	16	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 1,068	
17	R24	1.9479	17	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 1,027	
18	R25	2.0258	18	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 987	
19	R26	2.1068	19	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 949	
20	R27	2.1911	20	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 913	
21	R28	2.2788	21	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 878	
22	R29	2.3699	22	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 844	
23	R30	2.4647	23	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 811	
24	R31	2.5633	24	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 780	
25	R32	2.6658	25	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 750	
26	R33	2.7725	26	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 721	
27	R34	2.8834	27	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 694	
28	R35	2.9987	28	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 667	
29	R36	3.1187	29	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 641	
30	R37	3.2434	30	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 617	
31	R38	3.3731	31	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 593	
32	R39	3.5081	32	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 570	
33	R40	3.6484	33	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 548	
34	R41	3.7943	34	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 527	
35	R42	3.9461	35	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 507	
36	R43	4.1039	36	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 487	
37	R44	4.2681	37	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 469	
38	R45	4.4388	38	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 451	
39	R46	4.6164	39	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 433	
40	R47	4.8010	40	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 417	
41	R48	4.9931	41	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 401	
42	R49	5.1928	42	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 385	
43	R50	5.4005	43	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 370	
44	R51	5.6165	44	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 356	
45	R52	5.8412	45	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 342	
46	R53	6.0748	46	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 329	
47	R54	6.3178	47	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 317	
48	R55	6.5705	48	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 304	
49	R56	6.8333	49	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 293	
50	R57	7.1067	50	△ 234	△ 1,766	100.0	△ 1,766	△ 2,000	△ 281	
合計 (総便益額)									△ 33,564	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	水田貯留機能向上効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	22,375	0.0	0	-	-	
2	R9	1.0816	2	-	22,375	0.0	0	-	-	
3	R10	1.1249	3	-	22,375	9.0	2,014	2,014	1,790	
4	R11	1.1699	4	-	22,375	18.0	4,028	4,028	3,443	
5	R12	1.2167	5	-	22,375	27.0	6,041	6,041	4,965	
6	R13	1.2653	6	-	22,375	38.0	8,503	8,503	6,720	
7	R14	1.3159	7	-	22,375	52.0	11,635	11,635	8,842	
8	R15	1.3686	8	-	22,375	65.0	14,544	14,544	10,627	
9	R16	1.4233	9	-	22,375	78.0	17,453	17,453	12,262	
10	R17	1.4802	10	-	22,375	91.0	20,361	20,361	13,756	
11	R18	1.5395	11	-	22,375	100.0	22,375	22,375	14,534	
12	R19	1.6010	12	-	22,375	100.0	22,375	22,375	13,976	
13	R20	1.6651	13	-	22,375	100.0	22,375	22,375	13,438	
14	R21	1.7317	14	-	22,375	100.0	22,375	22,375	12,921	
15	R22	1.8009	15	-	22,375	100.0	22,375	22,375	12,424	
16	R23	1.8730	16	-	22,375	100.0	22,375	22,375	11,946	
17	R24	1.9479	17	-	22,375	100.0	22,375	22,375	11,487	
18	R25	2.0258	18	-	22,375	100.0	22,375	22,375	11,045	
19	R26	2.1068	19	-	22,375	100.0	22,375	22,375	10,620	
20	R27	2.1911	20	-	22,375	100.0	22,375	22,375	10,212	
21	R28	2.2788	21	-	22,375	100.0	22,375	22,375	9,819	
22	R29	2.3699	22	-	22,375	100.0	22,375	22,375	9,441	
23	R30	2.4647	23	-	22,375	100.0	22,375	22,375	9,078	
24	R31	2.5633	24	-	22,375	100.0	22,375	22,375	8,729	
25	R32	2.6658	25	-	22,375	100.0	22,375	22,375	8,393	
26	R33	2.7725	26	-	22,375	100.0	22,375	22,375	8,070	
27	R34	2.8834	27	-	22,375	100.0	22,375	22,375	7,760	
28	R35	2.9987	28	-	22,375	100.0	22,375	22,375	7,462	
29	R36	3.1187	29	-	22,375	100.0	22,375	22,375	7,174	
30	R37	3.2434	30	-	22,375	100.0	22,375	22,375	6,899	
31	R38	3.3731	31	-	22,375	100.0	22,375	22,375	6,633	
32	R39	3.5081	32	-	22,375	100.0	22,375	22,375	6,378	
33	R40	3.6484	33	-	22,375	100.0	22,375	22,375	6,133	
34	R41	3.7943	34	-	22,375	100.0	22,375	22,375	5,897	
35	R42	3.9461	35	-	22,375	100.0	22,375	22,375	5,670	
36	R43	4.1039	36	-	22,375	100.0	22,375	22,375	5,452	
37	R44	4.2681	37	-	22,375	100.0	22,375	22,375	5,242	
38	R45	4.4388	38	-	22,375	100.0	22,375	22,375	5,041	
39	R46	4.6164	39	-	22,375	100.0	22,375	22,375	4,847	
40	R47	4.8010	40	-	22,375	100.0	22,375	22,375	4,660	
41	R48	4.9931	41	-	22,375	100.0	22,375	22,375	4,481	
42	R49	5.1928	42	-	22,375	100.0	22,375	22,375	4,309	
43	R50	5.4005	43	-	22,375	100.0	22,375	22,375	4,143	
44	R51	5.6165	44	-	22,375	100.0	22,375	22,375	3,984	
45	R52	5.8412	45	-	22,375	100.0	22,375	22,375	3,831	
46	R53	6.0748	46	-	22,375	100.0	22,375	22,375	3,683	
47	R54	6.3178	47	-	22,375	100.0	22,375	22,375	3,542	
48	R55	6.5705	48	-	22,375	100.0	22,375	22,375	3,405	
49	R56	6.8333	49	-	22,375	100.0	22,375	22,375	3,274	
50	R57	7.1067	50	-	22,375	100.0	22,375	22,375	3,148	
合計(総便益額)									361,586	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		同 割引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	R8	1.0400	1	4,868	8,056	0.0	0	4,868	4,681	
2	R9	1.0816	2	4,868	8,056	0.0	0	4,868	4,501	
3	R10	1.1249	3	4,868	8,056	9.0	725	5,593	4,972	
4	R11	1.1699	4	4,868	8,056	18.0	1,450	6,318	5,400	
5	R12	1.2167	5	4,868	8,056	27.0	2,175	7,043	5,789	
6	R13	1.2653	6	4,868	8,056	38.0	3,061	7,929	6,266	
7	R14	1.3159	7	4,868	8,056	52.0	4,189	9,057	6,883	
8	R15	1.3686	8	4,868	8,056	65.0	5,236	10,104	7,383	
9	R16	1.4233	9	4,868	8,056	78.0	6,284	11,152	7,835	
10	R17	1.4802	10	4,868	8,056	91.0	7,331	12,199	8,241	
11	R18	1.5395	11	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	8,395	
12	R19	1.6010	12	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	8,072	
13	R20	1.6651	13	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	7,762	
14	R21	1.7317	14	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	7,463	
15	R22	1.8009	15	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	7,176	
16	R23	1.8730	16	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	6,900	
17	R24	1.9479	17	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	6,635	
18	R25	2.0258	18	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	6,380	
19	R26	2.1068	19	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	6,134	
20	R27	2.1911	20	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	5,898	
21	R28	2.2788	21	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	5,671	
22	R29	2.3699	22	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	5,453	
23	R30	2.4647	23	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	5,244	
24	R31	2.5633	24	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	5,042	
25	R32	2.6658	25	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	4,848	
26	R33	2.7725	26	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	4,661	
27	R34	2.8834	27	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	4,482	
28	R35	2.9987	28	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	4,310	
29	R36	3.1187	29	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	4,144	
30	R37	3.2434	30	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	3,985	
31	R38	3.3731	31	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	3,831	
32	R39	3.5081	32	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	3,684	
33	R40	3.6484	33	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	3,542	
34	R41	3.7943	34	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	3,406	
35	R42	3.9461	35	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	3,275	
36	R43	4.1039	36	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	3,149	
37	R44	4.2681	37	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	3,028	
38	R45	4.4388	38	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,912	
39	R46	4.6164	39	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,800	
40	R47	4.8010	40	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,692	
41	R48	4.9931	41	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,588	
42	R49	5.1928	42	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,489	
43	R50	5.4005	43	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,393	
44	R51	5.6165	44	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,301	
45	R52	5.8412	45	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,213	
46	R53	6.0748	46	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,127	
47	R54	6.3178	47	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	2,046	
48	R55	6.5705	48	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	1,967	
49	R56	6.8333	49	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	1,891	
50	R57	7.1067	50	4,868	8,056	100.0	8,056	12,924	1,819	
合計 (総便益額)									234,759	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、冬レタス、いちご

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額^{※1} + 作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稻	新設	ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
		35.2	37.3	2.1	作付増	-	-	525	11.0	245	2,695	-	-
		45.5	45.5	45.5	単収増 (乾田化)	525	557	32	14.6	245	3,577	89	3,184
				小計	-	-	-	25.6	245	6,272	89	3,184	
	更新	35.2	35.2	35.2	単収増 (水管理改良)	221	525	304	107	245	26,215	89	23,331
					小計	-	-	-	107.0	245	26,215	89	23,331
				水稻計	-	-	-	132.6	-	32,487	-	26,515	
冬レタス	新設	-	19.6	19.6	作付増	-	-	2,914	571.1	213	121,644	16	19,463
					小計	-	-	-	571.1	213	121,644	16	19,463
					冬レタス計	-	-	-	571	-	121,644	16	19,463
水田計	新設	45.5	45.5	/	/	/	/	/	/	/	127,916	/	22,647
	更新	35.2	35.2	/	/	/	/	/	/	/	26,215	/	23,331
いちご	更新	0.9	0.9	0.9	単収増 (湿潤かんがい)	3,117	3,584	467	4.2	1,714	7,199	91	6,551
					小計	-	-	-	4.2	1,714	7,199	91	6,551
					いちご計	-	-	-	4.2	-	7,199	91	6,551
普通畑計	新設	-	-	/	/	/	/	/	/	/	-	/	-
	更新	0.9	0.9	/	/	/	/	/	/	/	7,199	/	6,551
	新設	/	/	/	/	/	/	/	/	/	127,916	/	22,647
	更新	/	/	/	/	/	/	/	/	/	33,414	/	29,882
	合計	/	/	/	/	/	/	/	/	/	161,330	/	52,529

- ・作付面積 : 各作物の作付面積は以下のとおり
- 「現況作付面積」 ・ 関係市の作付実績に基づき決定した。
- 「計画作付面積」 ・ 新設整備では、県、関係市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・ 更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。

- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
- 「事業なかりせば単収」
 - ・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
 - ・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
- 「事業ありせば単収」
 - ・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
 - ・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」
 - ・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収)

- ・生産物単価 : 農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、いちご

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果 発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥	
	新 設		更 新					
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④				
水稲 (用水改良)	円 -	円 -	円 43,833	円 72,656	円 △28,823	ha 35.2	千円 △1,015	
いちご (用水改良)	-	-	7,878,184	956,000	6,922,184	0.9	6,230	
水稲 (水田ICT)	72,656	43,976	-	-	28,680	35.2	1,010	
水稲 小規模農家 (暗渠排水)	950,568	899,200	-	-	51,368	5.5	283	
水稲 担い手 (暗渠排水)	453,427	402,532	-	-	50,895	40.0	2,036	
水稲 (区画整理) (小規模→小規模)	2,343,111	899,200	-	-	1,443,911	5.1	7,364	
水稲 (区画整理) (小規模→担い手)	2,343,111	422,816	-	-	1,920,295	17.6	33,797	
水稲 (区画整理) (担い手→担い手)	1,885,176	422,816	-	-	1,462,360	19.1	27,931	
新 設								72,421
更 新								5,215
合 計								77,636

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、静岡県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、静岡県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

用水路、排水路、農道、揚水機場

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		349	2,115	△ 1,766
更新整備		115	349	△ 234
合 計				△ 2,000

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) その他の効果（水田貯留機能向上効果）

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での当該地域や下流域の洪水被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象施設

水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設

○効果算定式

年効果額 = ピークカット流出量 × 排水量当たり単価 × 還元率

○年効果額の算定

区分	ピーク カット 流出量 ①	排水量当たり 単価 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = ① × ② × ③
	m ³ /s	千円/m ³ /s		千円
新設整備	4.33	70,211	0.0736	22,375
更新整備	-	-	-	-
合計				22,375

- ・ピークカット流出量 : 事業なかりせば最大流出量－事業ありせば最大流出量
- ・排水量当たり単価 : 近傍排水施設の事業費と排水量により算定
- ・還元率 : 施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(5) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、冬レタス、いちご

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	127,916	180,622	49	9.9	8,056
更新整備	33,414	326,288	49	9.9	4,868
合計	161,330	506,910			12,924

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、静岡県経済産業部農地局農地計画課調べ

【便益】

- ・ 関東農政局統計部（平成31～令和5年）「農林水産統計年報」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、静岡県経済産業部農地局農地計画課調べ